

平成20年7月11日

## メディアカバー調査の概要（案）

## 1 調査の目的

国民への食品安全に関する情報提供は、リスクコミュニケーションにおける重要な要素のひとつである。情報は、多くの場合、マスメディアからの報道により入手されていると考えられるが、情報が国民に正確に伝わらず、結果として誤解を招く場合も見受けられる。

本調査は、国民に食品に関する情報を的確かつ効率的に伝えるための方法を検討するため、厚生労働省から発信した食品の安全性に関する情報がどのように報道され、国民がどのように受け取っているかについてデータを収集し、現状を把握することを目的とする。

## 2 調査の内容

厚生労働省が発信する食品の安全性に関する情報について、マスメディアによる報道と国民の受け取り方の実態を調査する。

## (1) マスメディア報道に係る調査

- ・厚生労働省が発信した過去の事例（5例程度）を選び、報道実態を調査する。
- ・各報道内容について、厚生労働省から発信した情報と比較し、趣旨の整合性について調査する。
- ・報道の規模について、経時的に調査する。
- ・発信内容と報道内容の趣旨の相違を生じた要因について分析する。

## (2) 国民の情報の受け取り方に係る調査

- ・国民がどのような媒体を介して情報を入手しているかを調査する。
- ・アンケート調査等により、発信した情報が国民にどのような趣旨で受け取られたかについて調査する。
- ・報道内容により、受け手側の行動がどのように影響を受けるかを調査する。
- ・受け手側の背景やその他の要因による影響を分析する。